

令和3年度「学校・家庭・地域連携サポート事業」地域学校協働研修会

国見町地域学校協働本部の 取り組みについて

国見町教育委員会学校教育課

国見町地域学校協働本部

統括地域学校協働活動推進員

菅野

敏彦

1. 国見町の概要

地域から子ども達へ～思いやり・知識・技を！～ 子ども達から地域へ～溢れる元気を！～
命を大切に 誰もが幸せに暮らすまち くにみ

福島県国見町について

国見町は福島県の最北端で宮城県と接する町

人口 約8,600人

面積 37.95 km²

福島市まで16Km

高速IC・JR東北本線、国道4号線と交通に恵まれた町

米や果樹など農業の盛んな町





国見の桃



国見のお米



平成24年度に、町内5つの小学校が統合され、国見小学校が誕生しました。遠方からはバスで通学しています。



縄文中期の竪穴式住居

2. 国見町の教育

1町1校の教育施設⇒「国見学園」と呼称



国見学園コミュニティ・スクール

国見学園コミュニティ・スクール

目につくところに掲示してください

国見学園をつらぬく「柱」

「自ら学び、心豊かでたくましく、
郷土を愛する国見の子の育成」

家庭・学校・地域が一体となって国見の子を育てていきましょう。

自ら学ぶ力を はぐくむ

- ことばの力を高めよう
ことばの力は考える力、伝え合う力です。
- いろいろなことにチャレンジしよう
チャレンジすることで可能性が広がります。
- 本に親しもう
知識がふえ世界が広がり想像力が育ちます。



豊かな心を はぐくむ

- あいさつせしよう
あいさつはコミュニケーションの始まりです。
- 「ありがとう」を言おう
感謝の気持ちはみんなを優しい気持ちにします。
- 決まりを守り仲良く活動しよう
集団活動を通して、社会性が身に付きます。
- 一人一人のいのちを大切にしよう
お互いに思いやりの心をもって生活します。

健康な体を はぐくむ

- 「早寝・早起き・朝ごはん」をしよう
健康的な生活リズムは健康な心と体をつくります。
- 体を使って遊び、運動しよう
運動することで元気な体をつくります。
- 安全や健康を考えて行動しよう
自分の命は自分で守ります。



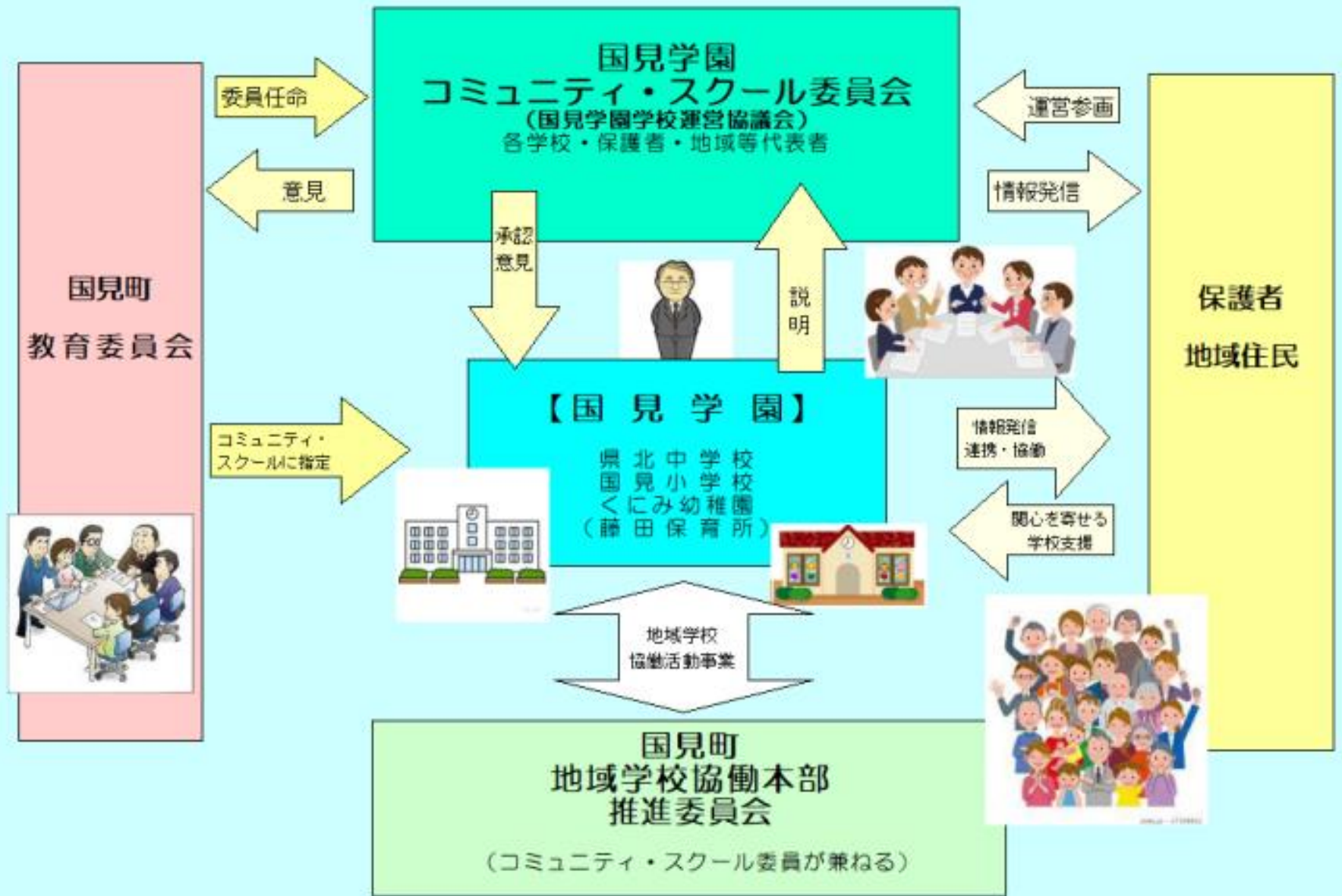
郷土愛をはぐくむ

- 「ふるさと国見」を学ぼう
国見の良さを知り、ふるさとを大切にする気持ちが育ちます。
- 家族や地域の人々とふれあおう
家族や地域の一員としての気持ちが育ちます。
- 地域の行事に参加しよう
交流や体験ができ、地域が元気になります。



保幼小中一貫教育

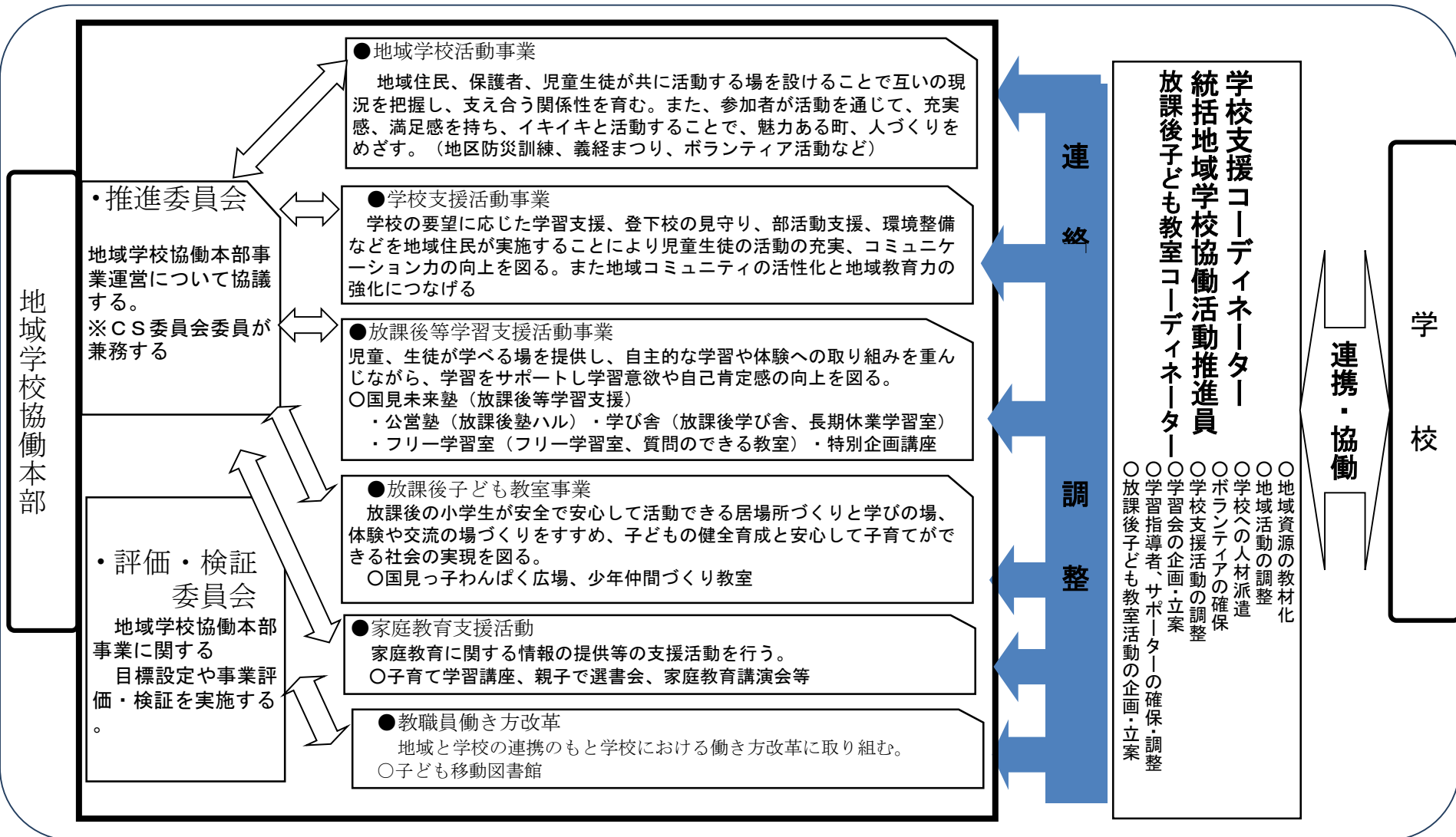
3. 地域学校協働本部事業について



C S と地域学校協働本部活動の一体的推進

国見町地域学校協働本部事業 事業構成図

令和3年度
国見町教育委員会



令和3年度 地域学校協働活動事業一覧

4. 各事業の概要

(1) 学校支援活動

- 学校が担う教育領域が拡大、教職員の業務の増大
- 保護者から個別対応の要望が増加。
- 様々な学習形態や指導法の工夫の必要



□ 学校における多様な学びや体験活動の実施を支援



● 学校支援活動

安全確保 学習支援 体験活動 環境整備

●安全確保



□新1年生へ下校の安全指導



□水泳指導における安全確保

例年ならすぐ集まる地域のボランティアの方々が、コロナへの不安（自分が子どもに感染させたら申し訳ない）を理由に辞退される方が多かった。コーディネーターが、ボランティア未経験の保護者にも連絡を繰り返し確保に努めた。

●学習支援



特別支援学級の児童への学習をサポート

複数の学年の児童で構成される特別支援学級
⇒教職を退職された地域の方が支援に参加し、特別な
支援を要する児童の学習効果を保証。

●体験活動

桃の実選り体験、桃の収穫取材支援



実選り体験（6月）



収穫を取材（9月）

桃の実選り体験は6月に実施できたが、9月初めに予定していた桃の収穫体験は、コロナ対応のため中止となった。しかし、その代替えとして、コーディネーターは生産者と教師と連絡を取り合い、教師が収穫の様子を取材する支援をした。

(2) 国見未来塾

■地域や家庭の教育力が低下の傾向にある。

■家庭の経済状況や保護者の意識が子ども達の生活力、学習力に与える影響は大きく格差が生じつつある。



□学力を身につけるため、多様な機会や場で主体的に学べるようにする。



●国見未来塾

- ・公営塾（放課後塾ハル中学部）
- ・学び舎（放課後塾ハル小学部、長期休業学習室）
- ・フリー学習室（質問のできる学習室）
- ・特別企画講座（国際理解教室など）

＜放課後塾ハル（中学部、小学部）＞

- 中学部は、英語・数学を指導。中3は受験対策。テーマ学習
- 小学部：宿題支援、算数を中心とした教科指導、テーマ学習



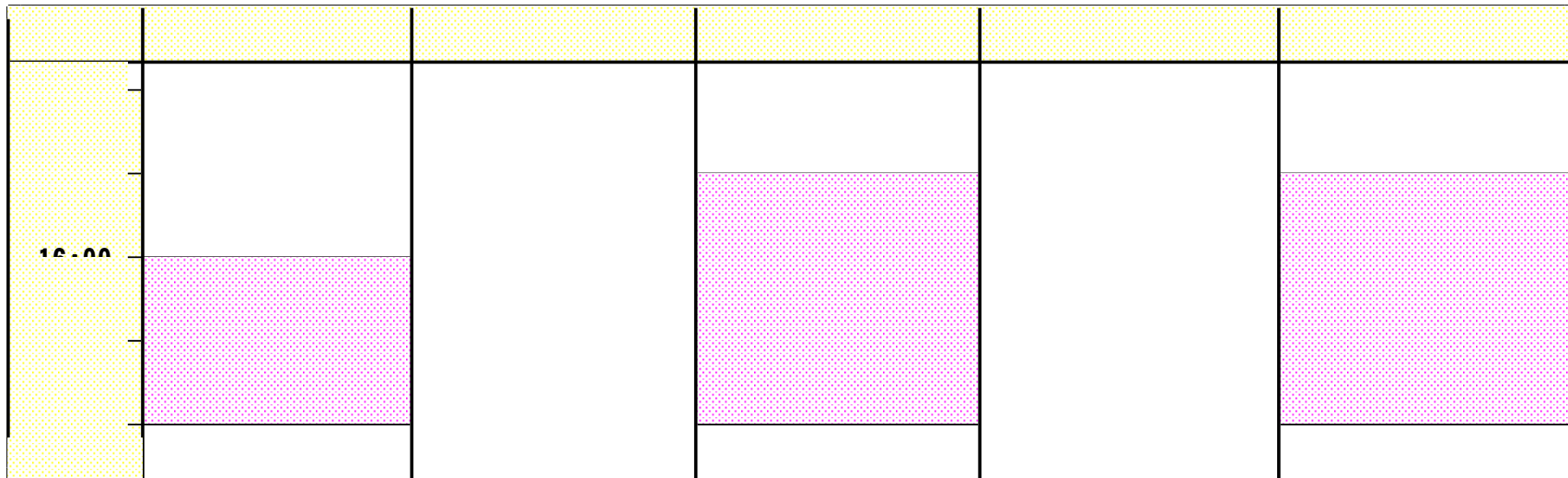
中学部の学習の様子



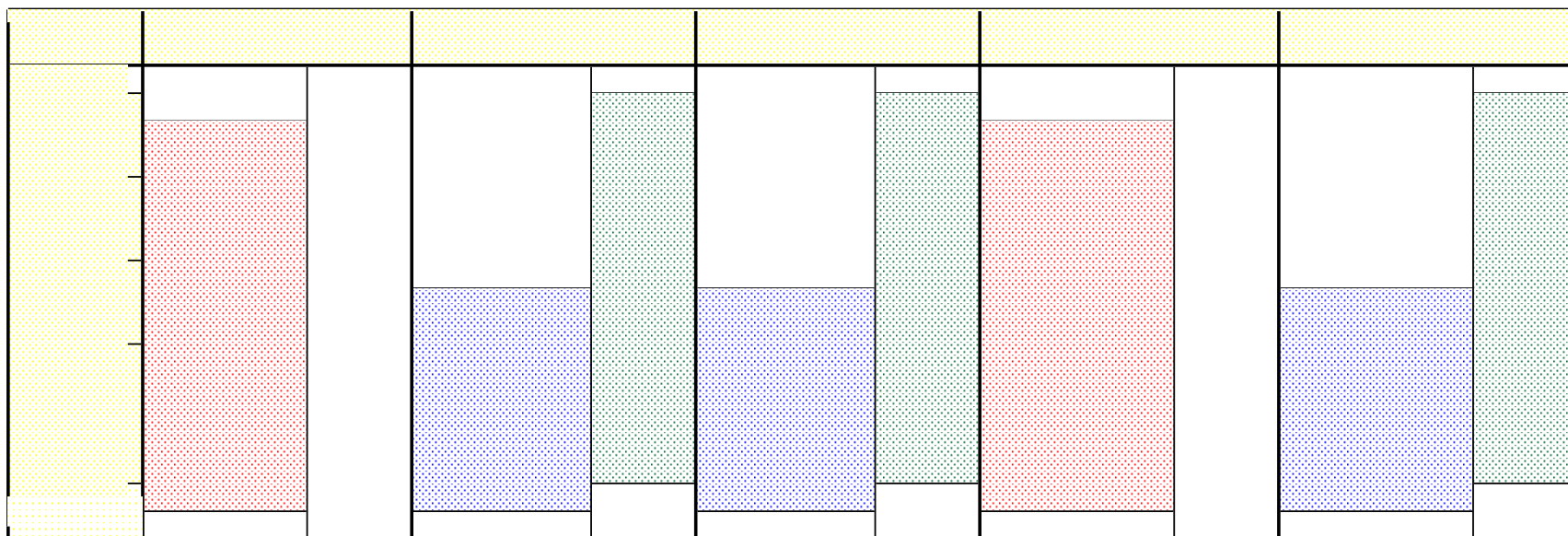
小学部の学習の様子

<放課後塾ハルの週スケジュール>

<小学部>



<中学部>



＜ハル道場＞



対象は中学3年、週3回開講。自学自習の場。スタッフが1名。
自分のわからない問題をスタッフに質問し、解決しながら自学を進める教室。

<テーマ学習>

□放課後塾ハルでは、教科学習の指導の他に、「テーマ学習」も実施している。

☆「テーマ学習」 アート編、宇宙編、地球編、戦国時代編など

「テーマ学習」は、児童生徒は自分の興味関心のジャンルを広げたり、将来への夢を膨らませたりすることをねらって実施している。



小学部の「テーマ学習：宇宙・ロケット編」

宇宙とロケットの学習をしたあとペットボトルロケットを製作し、屋
外で飛ばした。

＜保護者との連携を重視した放課後塾ハルの運営＞

- ハルスタッフが、保護者説明会を開き、保護者は内容を理解したうえで入塾を判断してもらうようにした。
- ハルスタッフは、中学部、小学部とも保護者との面談を適時実施し、子どもの学習状況や進路について情報を共有しあっている。



保護者説明会（小・中学部）



面談（三者面談、保護者面談）

＜放課後塾ハルの運営を支える 地域学校協働本部の取り組み＞

- 月1回定例の地域学校協働本部の定期打合せ会にハルスタッフが参加し、運営の状況を報告してもらい、必要に応じて指導助言を与えている。
- ハルスタッフと協働本部の元教員の間で、定期的に（1～2週に1回）相談の場を設け、授業の進め方や指導内容等における問題や悩みを出してもらい助言を与えている。



地域学校協働本部の打合せ会（毎月1回）



教員経験者からの助言（1～2週に1回） 19

(3) 放課後子ども教室

●国見っ子わんぱく広場

- ・国見小1～3年生
- ・月1回、土曜開催

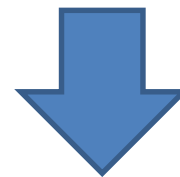


○週末等における地域の子どもたちの様々な体験・異学年や地域の大人との交流活動

○地域の子どもたちと大人の積極的な参画・交流により、規範意識やコミュニケーション能力の向上

●少年仲間づくり教室

- ・国見小4～6年生
- ・月1回、土曜開催



○週末等における地域の子どもたちの様々な体験・異学年や地域の大人との交流活動

○地域の子どもたちと大人の積極的な参画・交流により、規範意識やコミュニケーション能力の向上

●国見っ子わんぱく広場

令和3年度国見っ子わんぱく広場活動計画

活動日	活動時間	活動計画	活動場所
5月29日(土)	9:30~11:30	開所式・名札作りほか	国見小学校体育館
6月19日(土)	9:30~11:30	体を使ったゲーム	国見小学校体育館
7月27日(火)	8:00~17:00	【夏休み特別活動】 ○野外体験活動 ⇒台風の接近により中止	・アクアマリンふくしま
8月10日(火) 8月11日(水)	9:00~12:00	【夏休み特別活動】 ○夏祭り	国見小学校体育館
9月11日(土)	9:30~11:30	ニュースポーツ体験	国見小学校体育館
10月9日(土)	9:30~11:30	創作活動	国見小学校体育館 図工室
11月13日(土)	9:30~11:30	おやつ作り	国見小学校体育館 家庭科室ほか
12月18日(土)	9:30~11:30	【冬休み特別活動】(世代間交流) ○お正月遊び	国見小学校体育館
1月15日(土)	9:30~11:30	マジック教室	国見小学校体育館
2月19日(土)	9:30~11:30	閉所式・思い出すごろく (保護者参観・交流)	国見小学校体育館

＜国見っ子わんぱく広場＞



●少年仲間づくり教室

●はコロナにより当初の計画を変更した活動

令和3年度少年仲間づくり教室活動計画

活動日	活動時間	活動計画（指導者等）	活動場所
5月29日(土)	13:30～15:30	開所式・ニュースポーツ	観月台文化セ、体育館
6月19日(土)	9:30～11:30	絵手紙教室 (あすなろ絵手紙会)	観月台文化セ、大研修室
●7月10日(土)	9:00～11:30	ラグビー教室 (聖光学院ラグビー部)	観月台文化セ、体育館
●7月29日(木)	8:15～17:15	自然体験ハイキング (公民館職員 引率)	安達太良山
9月11日(土)	13:30～15:30	レクリエーション (国見レクリエーション協会)	観月台文化セ、大研修室
●10月9日(土)	9:30～11:30	なわとび教室 (公民館職員)	観月台文化セ、体育館
●11月13日(土)	8:40～12:30	自然に親しもう 森林学習・木工クラフト (公民館職員引率)	福島市小鳥の森
12月5日(日)	12:30～17:00	移動教室 こころふれあい音楽鑑賞 (公民館職員 引率)	福島市ふくしん夢の音楽堂
●1月29日(土)	9:30～12:00	国際理解 地球体験キャラバン (ふくしま青年海外協力隊OB, OG)	観月台文化セ、大研修室
●2月19日(土)	9:30～11:30	閉所式・クッキング体験 (公民館職員)	観月台文化セ、大研修室

<少年仲間づくり教室>



(4) 家庭教育支援活動

- 子育てに悩みや不安を抱えた保護者の増加
(核家族化、ひとり親の増加、地域のつながりの希薄化)
- ネット環境の普及により家庭で発生している諸問題
(情報モラル、学力への影響)



□ 家庭や地域と学校の連携を図りながら、子育て支援講座、家庭教育講演会等を実施する。

□ 地域における親子での学習機会の提供や親子参加型の行事を実施する。



● 家庭教育支援活動

- ・ 就学時検診講話
- ・ 家庭教育講演会 2021
- ・ 親子工作教室、親子でマネー教室、親子クッキング

●「家庭教育講演会2021」 コロナ禍への対応

◇当初の計画

- ・ テーマ：スマートフォンの使用が学力に及ぼす影響
- ・ 講師：東北大学加齢医学研究所助教 榊 浩平 先生
- ・ 期日：9月3日（金）※国見小授業参観日
- ・ 場所：国見小学校 体育館
- ・ 参加対象者：6年児童全員
保護者（保、幼、小、中）
教職員（保、幼、小、中）
コミュニティ・スクール委員会委員

⇒ 期日を国見小学校の授業参観日に設定。授業参観後PTA教育講演会が予定されていたので、その代替えとして実施することも学校とPTAとの話し合いで了承されていた。⇒ “親子で講演会”の実現へ

◇実施までの経過

●8月23日 コロナ感染拡大の状況から、国見小学校は9月3日の授業参観を中止することを決めた。



- ・講師の榊先生が体育館で保護者や教職員たちを前に講演する。保護者には参加の呼びかけをする。
- ・6年児童は各教室でリモートで講演を視聴する。

●8月25日 菅首相、緊急事態宣言の対象に、北海道、宮城、岐阜、愛知、三重、滋賀、岡山、広島の8道県を追加することを決定した。



- ・講師の榊先生が国見に来れないことになった。
(東北大学の規定で、緊急事態宣言下では他県に出張に行けない)



8月26日 東北大学と国見の4会場をリモートでつないで講演会を実施することを講師の榊先生に提案し了承していただく。

<リモート講演会の実施>

東北大学：講師 榊浩平 先生

観月台文化セ
・保護者
・CS委員

国見小学校
・6年児童
・教職員

県北中学校
・教職員

くにみ幼稚園
・教職員



5. CSと地域学校協働活動の一体的推進

(1) 「家庭教育講演会」の学びを CS委員会の具体的な取り組みへ

家庭教育講演会
で得た学び

CS委員会で、
取り組みを協議

子ども・保護者へ
呼びかけ

「スマホを使いすぎると、勉強しても成果が上がらない」

例) スマホ使用の家庭ルールを決めるよう呼びかけよう

今後、学校、PTA、地域の協力を得ながら取り組む



(2) 国見学園CSの目標に関連させた 長期休業学習室の工夫

◇夏休み学習室は自学学習を基本とするが、国見学園CSの4柱の1つ「郷土愛をはぐくむ」をねらいとした1コマを実施。

5年：国見町のお気に入りのスポット（風景編）

6年：国見町の歴史スポット（歴史編）



国見の美しい風景や史跡の写真を子どもと対話しながら紹介し、国見のよさを理解させ、国見への愛着を深めさせる。



風景編の学習の様子



風景編で紹介した1枚

6. 最後に

<成果>

- ◎ 子どもが地域の大人と交流する機会と場を確保し、子どもの心豊かな成長につなげている。
- ◎ 地域や家庭の教育力の低下のなか、それを補う役目を担うことができている。
- ◎ 新型コロナウイルス感染症の影響は大きいですが、対策を工夫しできる限り実施するようにし、子どもに有益な成長につながる様々な体験の場を提供し続けた。

<課題>

- 地域全体で子どもたちの育成を支える風土や環境づくりは、今後も継続した取り組みが必要である。
- 地域学校協働本部の活動に協力してくれる地域の人材の確保が一層必要になってきている。
- 新型コロナウイルス感染症対策は、今後も油断することなく取り組まなければならない。
- 人口減少が進む中、大人も子どもも町づくりの課題を解決しようとする取り組みを工夫していく必要がある。